

中国石油天然ガス集团公司との間の「石油精製合弁会社の設立に関する意向書」締結について

記者各位

当社(本社:東京都港区、社長:西尾進路。以下「新日石」という。)は、中国石油天然ガス集团公司(総経理:蔣潔敏(ジャン ジエミン)。以下「CNPC」という。)との間で、これまでの長期に亘る協力関係を基にアジア・太平洋地域における両社のさらなる発展を期するべく、精製子会社である新日本石油精製株式会社(本社:東京都港区、社長:大野博。以下「新日精」という。)大阪製油所の合弁製油所化に向けて、詳細な検討に入ることにつき合意に達し、本日、下記のとおり意向書を締結しましたので、お知らせいたします。

新日石とCNPCは、2004年7月に「石油製品受託精製契約」をCNPC傘下のチャイナオイルとの間で締結し、また、2007年4月には「長期協力に関する覚書」を締結するなど、これまで良好な関係を構築してまいりました。なお、石油製品の受託精製に関しては、2008年度の契約数量を前年度の5万バレル/日から7万バレル/日に増量する契約を、本意向書と併せて締結いたしました。

今後両社は、一段の競争力強化と事業のさらなる拡大・発展に向けて、引き続き、強固な協力関係の維持・発展に努めてまいります。

記

1. 意向書締結日および場所

2008年5月7日(水)

於:帝国ホテル(東京都千代田区)

2. 調印者

新日石:代表取締役会長 渡 文明

CNPC:総経理 蔣 潔敏

3. 合弁会社の概要

(1)所在地 大阪府高石市

(2)出資比率 新日石:51%
CNPC:49%

(3)事業内容 大阪製油所において原油を精製のうえ、アジア・太平洋市場においてこれを販売する。

(4)その他 会社名、会社設立の時期等具体的事項については、今後、両社間で協議のうえ決定する。

4. 合弁会社設立の背景・目的

(1)昨今の原油価格高騰、環境規制の強化に伴う燃料転換・省エネの進展で、国内の石油需要の大幅な減少が見込まれる中、先行きの過剰設備解消をはじめとする抜本的な産業構造の改革はわが国石油業界の喫緊の課題となっております。一方、アジア・太平洋地域における石油製品需要は着実に増加しており、中長期的な観点からもビジネスチャンスは拡大する見通しです。

(2)このような事業環境に係る共通認識のもと、新日石とCNPCは、新日石グループの製油所運営能力と、CNPCグループの優れた製品マーケティング能力を相互に有効活用することを目的として、合弁会社の設立について検討を開始いたします。

(3)具体的には、新日石の精製子会社である新日精が所有する大阪製油所の優位性(生産する製品の品質の高さ、大容量の製品タンク等)を最大限に活かし、同製油所を国内市場向けの製油所からアジア市場に向けた輸出型製油所に転換することを企図しております。

(4)こうした既存製油所の輸出製油所化は、過剰設備対策として有効で、国内石油産業の競争力強化に資するとともに、拡大著しいアジア・太平洋市場のエネルギー安定供給に貢献するもので、わが国のエネルギー政策に沿ったものです。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

新日本石油株式会社 広報部広報グループ TEL:03-3502-1124

 [新日精及び大阪製油所概要 \(56.3KB\)](#)